



国連生物多様性の10年

野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査（定期糞便採取調査） の結果について（平成30年4月分）

野鳥における高病原性鳥インフルエンザのサーベイランス（調査）について、平成30年4月分の定期糞便採取調査及び検査を行ったところ、ガンカモ類の糞から高病原性鳥インフルエンザウイルスは確認されませんでした。

- 1 糞の採取地等（詳細については別紙）
12都道府県 16市区町（計833個を採取）
- 2 検査結果
1の各地点で採取した糞について、高病原性鳥インフルエンザウイルスの保有状況を検査した結果、全て陰性でした。

【留意事項】

※ この定期糞便採取調査は、野鳥が海外から日本に高病原性鳥インフルエンザウイルスを持ち込んだ場合に早期発見することを目的に、毎年10月～翌年4月まで環境省が行っている定期的な調査です。

※ 環境省では、高病原性鳥インフルエンザウイルスの保有状況調査について、以下のホームページでお知らせしております。

http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html

※今シーズンの定期糞便調査は今回で終了です。

平成30年6月4日（月）
環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
直通 03-5521-8285
代表 03-3581-3351
室長 西山 理行（内線6470）
室長補佐 野川 裕史（内線6675）
担当 鎌田 憲太郎（内線6474）

(別紙)

12都道県16市区町（糞の採取地）

県名	市町名	採取数
北海道	苫小牧市	5
	別海町	47
	浜頓別町	100
	網走市	15
青森	平内町	5
秋田	男鹿市・潟上市	100
栃木	大田原市	41
千葉	市川市	25

県名	市町名	採取数
東京	大田区	50
新潟	阿賀野市	100
鳥取	米子市	100
広島	廿日市市	100
徳島	鳴門市	35
愛媛	西条市	100
長崎	諫早市	10
合 計		833